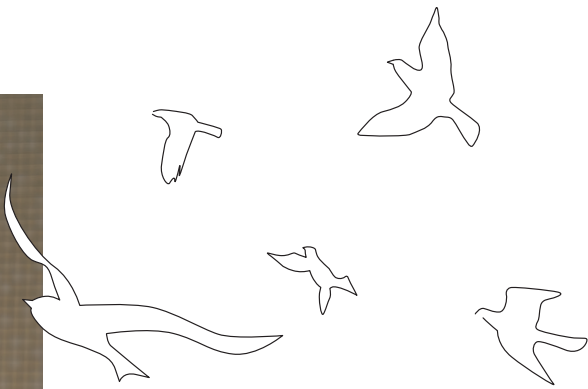


皆さん、こんにちは。
福岡県中間市です。

Hello

2025年 中間市市勢要覧



1_ 下大隈地区に 200 年以上前から伝わる「里踊り」で三味線を奏でる女性。地域全体で伝統芸能を守っています。

2_ 認知症カフェ「そのまの会」で談笑する夫婦。

3_ 二十歳を祝う式典で将来の夢を語る女性。4_ 桜の名所・垣生公園で遊ぶ子どもたち。

5_ 中間市こども家庭センター「くるり広場」でおもちゃ遊び。6_ 「くるり広場」の節分イベントに参加した子どももご満悦の様子。7_ 児童生徒の通学を見守る通学安全協力員。見守る姿が安心です。8～10_ 市民体育祭。

3	2	1
6	5	4
8	7	10
		9

夢
かなう
まじり
なかま



市民体育祭の玉入れ競技を楽しむ子どもたち

皆さんは、福岡県中間市をご存じでしょうか

このまちは、豊かな自然と都市の利便性が心地よく溶け合い、懐かしさと新しさが共存する場所

遠賀川の穏やかな流れに見守られながら、人々は支え合い、あたたかな絆を育むまちです

そんな中間市の魅力を言葉にするのは、簡単ではありません

それならば——と、この市勢要覧では、あえて多くを語らず、写真で物語を綴りました

まちの風景、笑顔あふれる日常、そして夢へと踏み出す瞬間

ページをめくるたび、あなたの知らなかった中間市の表情が広がります

さあ、心を預けるように、このまちの物語に触れてみてください

この一冊が、新たな出会いの扉となることを願って——



雪景色のポンプ室。季節に関係なく、製鐵所の鋼材生産に必要な工業用水の約6割を送水。



秋が深まると、建物を覆うつたが紅葉し、赤煉瓦とともに季節の彩りをまといます。



土日祝日(年末年始除く)の10時～16時(雨天時変更有)、観光ガイドが解説します。

ポンプ室のすごい所

01

ポンプ室のシンボル、丸窓

遠賀川水源地ポンプ室は、2棟が連なった構造で、北側のポンプ室は丸い窓、南側のボイラー室は半円型の窓が印象的。

イギリス積みの赤煉瓦

煉瓦造りのポンプ室。煉瓦の長い部分と短い部分を交互に段違いに積む「イギリス積み」と呼ばれる強度の高い積み方で建てられています。

02



現在の電気ポンプ

04

遠賀川から取水した水を約12km離れた製鐵所まで送っています。1日に送る水の量は約12万t(25mプールの約360杯分)とされています。

めずらしい灰白色の「鉾澤煉瓦」

鉾澤煉瓦とは、鉄を作る際に出る滓を粉碎し、生石灰・水を加えて成形した煉瓦です。柱や窓など部分的に使用され、デザインのアクセントになるとともに、赤煉瓦よりも吸音性に優れているという特徴もあります。

03



詳しくはコチラ



市観光HP

遠賀川水源地ポンプ室
インフォメーションセンター
(中間市地域交流センター内)

① 中間市大字垣生 660-1
☎ 093-245-4665 ② 9:00 - 18:00
🗓 火曜日、年末年始
※ 火曜日が祝日の場合はその翌日



世界文化遺産 明治日本の産業革命遺産

遠賀川水源地ポンプ室



非公開施設、眺望スペースから外観の見学可(建物所在地: 中間市土手ノ内一丁目3-1)

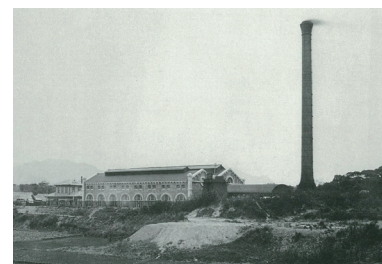
遠賀川の水が近代製鉄を支えた

幕末から明治にかけ、日本は西洋以外の地域で初めて、かつ短期間に工業化を果たし、飛躍的な発展を成し遂げました。

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、その発展を示す産業遺産群として、2015年に世界文化遺産に登録。中間市に所在する「遠賀川水源地ポンプ室」は「明治日本の産業革命遺産」の九州各地、山口、静岡、岩手の8県11市にまたがる23の構成資産の一つです。

官営八幡製鐵所が生産量の倍増を目指す中、工業用水が大量に必要となったことから、遠賀川から製鐵所へ送水する施設として1910年に操業を開始。ポンプ室の北側の棟には、送水のための蒸気ポンプ、南側の棟には動力源となるボイラーが設置されました。

ポンプ室内部の送水設備の動力は、1950年代に蒸気から電気へ移り変わりましたが、100年以上経った今も役割は変わることなく、現役で稼働しています。



建設当時は約50mもの高さの煙突が設置されていました。



動力源のボイラーは、建設当時圧倒的シェアを占めていたバブcock&ウィルコックス社製。



建設当時は、工業用水の安定送水に世界的実績のあるデビー社製蒸気ポンプを導入。

イベントに参加しよう

なかまフットパスでは、さまざまなフットパスイベントを開催しています。初めての人は、イベントに参加してみるのがフットパスを知る近道かも。また、何人か仲間を集めて、なかまフットパスのガイドを頼んでみましょう。ガイドさんが主なスポットでの簡単な説明とフットパスの魅力をお伝えします。



市内を走る筑豊電鉄の車庫見学は、人気のイベント。このほかにも、農産物の収穫体験や工場見学を楽しめるフットパスなど、イベント盛りだくさんです。

4

どんな格好で歩くの？

長めのコースを歩くなら、やっぱり歩きやすい運動靴がベスト。でも、自分が歩きやすければ、靴も服装も自由です。タオルと水筒、地図さえ持てば、いつでも気軽に歩き出せます。



3

どうやって楽しむの？

コースの魅力は十人十色。自分のアンテナにビビッとくる所があるはず。野に咲く花や空を舞う鳥、さらにはマンホールふたにも、思わず足を止めたくなる発見がたくさんあります。そして、もう一つの魅力は地元の方の皆さん。コース内に疑問を感じたら地元の方に聞いてみましょう。そこで生まれる交流もフットパスならではの楽しみです。



2

歩く仲間を見つけよう

一人でじっくり歩くのも楽しいけど、仲間や家族と歩くと楽しさも倍増です。歩く速さも、時間もコースも自分たちで調整できるから、小さなお子さんからお年寄りまで無理なく歩けます。



1

地図を手に入れよう

フットパスの地図では、そのコースのおすすめを紹介しています。いろいろなコースの中から、自分に合ったコースを見つけましょう。



フットパスの楽しみ方

「フットパス」って
フットパスとは、イギリスが発祥で森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径のこと。
歩くからこそ見えてくる地域の魅力や季節の風景、地元の方との触れ合い。それこそがフットパスの醍醐味です。
ずっとここにあった道。だけど、気づいたのは、きつと今日がはじめて。あなただけの新しい発見を探しに、中間市をゆつくりと歩いてみませんか。

なかまフットパス





一級河川
遠賀川

ONGA RIVER

- 船着き場
- 遠賀川鉄橋橋脚
- 遠賀川河川敷（多目的広場・遊歩道）
- 中間市役所
- 遠賀川水源ポンプ室
- サイクリングコース
- 遠賀川
- デイキャンプ場

自然と遊ぶ

遠賀川と河川敷を遊ぶつくす



遠賀川と河川敷

市の中央を悠々と流れる一級河川・遠賀川。その流域に広がる河川敷は、訪れる人をそっと迎え、穏やかな時間を届けてくれます。春、菜の花が咲き誇り、あたり一面、明るい黄色に染まる河川敷。風に揺れる花の波が、ふわり春の香りを運びます。

夏は涼しい風に揺られ、秋はやわらかな陽ざしの中、ゆったりと散策。冬の朝には、霜にきらめく草が静かな美しさをたたえます。

遠賀川は、四季を通じて心も体もやわらかにほぐしてくれる場所です。

芝生広場では、空の下、思い思いに過ごす人たちの笑い声がこだまし、遊歩道では、川風に吹かれながら、ウォーキングやジョギングを楽しむ人の姿も。季節ごとに開かれるイベントや祭りでは、笑顔が河川敷いっぱいに広がります。

寄り添う自然に心と体が、そっとほぐれていく――。

さあ、やわらかな風に身を預けて、深く息を吸い込んで。あなたも遠賀川で、安らぎの時間を過ごしてみませんか。

6_ やわらかな芝生が広がるデイキャンプ場で、心ゆくまでゆったりとしたひとときを。7_ 春になると、河川敷に菜の花が咲き誇ります。8, 9_ 令和7年3月開催の「なかま春祭り」。多目的広場では、1万人を超えるイベントも開催されます。



バスフィッシングの名所・遠賀川。盛んに大会が開催され、県外からも釣り人が集まります。



週末の早朝は、ウェイクボーダーが集結。毎年、九州大会も開催されています。



船着き場が整備され、週末には多くのボートが浮かびます。(写真はイベント時の様子)

▶ Special Movie

中間市の魅力ある飲食店などをご紹介します！

中間市PR大使の^{おおの}大野いとさんと中間市育ちでラジオナビゲーターの^{つる}鶴田弥生さんが、中間市の飲食店などを紹介しています。ぜひ、チェックしてみてください。

動画は
コチラ



人気店がたくさん！



60秒の短編動画がズラリ！スマホで見やすい縦型です

地元の恵みがそろう

新鮮市場さくら館

垣生公園の隣です！

新鮮市場さくら館では、地元産の野菜や果物、生花に加え、精肉・鮮魚の対面販売も楽しめます。安心の国内産精肉はオーダーカット対応、鮮魚は市場直送で刺身用の無料調理もOK。中間産の減農薬米や焼きたてパン、地元食材のお弁当・お惣菜も並び、地域の味覚がぎゅっと詰まった市場です。



特産品「ほのぼの味噌」

- ① 中間市大字垣生 659 (垣生公園隣)
- ※ JR 筑前垣生駅から徒歩約 5 分
- ☎ 093-245-8311
- 🕒 9:00 - 18:30
- ※ 季節により閉店時間の変更あり
- 🔥 火曜日、年始

全部グルメ

押さえておきたい！ふるさと納税返礼品 3 選

中間市ふるさと納税返礼品、人気ランキング上位 3 位をご紹介します！

※令和 6 年実績

01

食の都、福岡が誇るご当地博多のもつ鍋！

博多の名店「博多若杉」がお届けする、国産牛小腸だけを使ったもつ鍋。ぶるんと柔らかく、甘い脂がとろける上質な口どけが魅力です。リピーターをとりこにする秘伝スープは、酒かす香る芳醇な醤油仕立て。野菜を加えるだけで、本場博多のもつ鍋がご家庭でも手軽に再現できます。職人が生み出す至福の味わいを、大切な人と囲むひとときにどうぞ。



02

サクサクっ！ 国産大粒かきフライ



昭和 21 年創業、中間市の老舗・マル五「辻鮮魚店」の逸品で、広島県産の大粒かきを使用。独自の急速冷凍技術で鮮度とうまみを閉じ込め、凍ったまま揚げれば、外はサクサク、中はぷりっと極上のかきフライに。

肉の谷口総本店 牛コロホルモン！

03



栄養豊かな牛小腸を丁寧に裏返したぶるぶるの「丸腸」。味噌ダレが染み込み、噛むほどに濃厚なうまみと甘い脂が広がります。コラーゲンたっぷりで、美味しさと美容も両立した逸品です。

CHECK !

まだまだ、返礼品は盛りだくさん！

今回で紹介したグルメのほかにも、中間市には魅力的な返礼品が盛りだくさん。市内に足を運んで味わうのはもちろん、ふるさと納税の返礼品として、自分へのご褒美にもおすすめです。

詳しくはコチラ



知ってほしい

中間の魅力



まだまだ見どころ満載の中間市。足をのぼして、歴史や四季折々の風景に触れてみませんか。



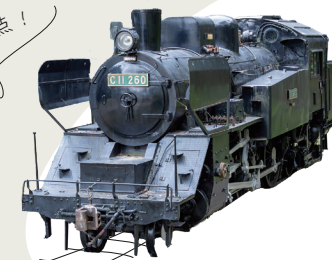
垣生公園

約 15 万㎡もの広さがある市内最大の総合公園は、自然豊かな憩いのスポット。春になると約千本の桜が咲き、花菖蒲やツツジ、紫陽花など 1 年を通じて自然に触れ合うことができます。また、公園内には S L 蒸気機関車の展示や遊具もあり、子どもたちもきっと大満足です。



- ① 中間市大字垣生字八ツ廣 428
- ※ JR 筑前垣生駅から徒歩約 5 分

S L は迫力満点！



屋根のない博物館

時が経ち、線路は博物館へ

旧国鉄香月線の跡地を利用して平成元年につくられた緑道公園。幅 7 m、全長約 400 m の敷地にモアイ像やスフィンクスなど世界の石像レプリカ 30 体余りを配し、古代遺跡のような雰囲気が楽しめます。

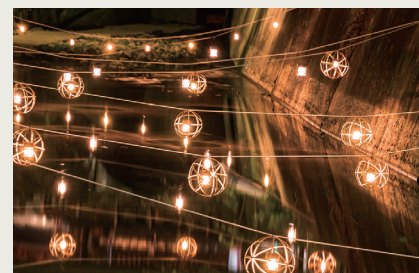
- ① 中間市中央二丁目
- ※ JR 中間駅から徒歩約 1 分



中間唐戸・堀川

元和 7 (1621) 年、黒田長政の命で治水や水上輸送のため堀川の掘削が開始。中間市から水巻町、八幡西区折尾を通して洞海湾に至る大工事です。しかし、2 年後に長政が死去し工事が中断。130 年後に再開され、宝歴 12 (1762) 年、6 代藩主・継高の時代に「中間唐戸」の完成で堀川は全面開通しました。

- ① 中間市中間二丁目
- ※ JR 筑前垣生駅から徒歩約 20 分



中間唐戸 (県指定文化財)

夢がかなうまち なかまを目指して



中間市では、令和6年度に今後10年間のまちづくりの指針となる「中間市第5次総合計画」を策定しました。

世代を超えた多くの人が中間市の魅力を感じ、中間市に「来たい」「住み続けたい」と思えるまちの実現に向けて、7つの行政分野ごとに政策を定め、取り組みを進めていきます。

01 都市基盤

コンパクトで、
快適に暮らせるまちづくり

市の中心を南北に流れる遠賀川。その東部に、まちの各種機能が集積している特性を生かしたコンパクトなまちづくりを推進しています。

今後も地域の特性に応じた適正な土地利用を進め、良好な市街地の形成を図る方針です。

また、中心市街



暮らしを支える快適なアクセスです。

地をはじめとした周辺道路環境の整備を進め、市民の移動しやすさの向上と安全確保に努めます。

公共交通では、鉄道や路線バス、コミュニティバスが運行しています。引き続き、持続可能な公共交通ネットワークの充実を目指します。

02 環境

環境にやさしい、
自然と調和するまちづくり

毎月第2日曜日を「環境美化の日」と定め、市民と協働で市内清掃活動を実施するなど、市民の環境に対する意識の高揚と自主的な取り組みを推進しています。

また中間市は、2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す。



公用車に環境負荷の少ない電気自動車の一部導入

ロを目指す「中間市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しており、一部の公共施設における太陽光発電の活用など、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策を促進し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。

03 産業

活力とにぎわいのあるまちづくり

地域経済の活性化に向けては、雇用の安定と拡大を図るとともに、魅力的で多様な就業の機会を創出することが重要です。

中間市では、農工商連携による特産品の開発や、中間商工会議所のプレミアム付き商品券事業への補助金交付などを通じ、各種産業の振興に取り組んでいます。

また、企業誘致のほか、地域資源を生かした観光振興も



中間市チャレンジショップ「夢まるしえ」では、低額の家賃で店舗を貸し出し、新規出店希望者の夢を応援しています。



推進し、新たな人の流れやにぎわいの創出によって、地域の活性化につなげます。

04 保健福祉

元気の輪が広がるまちづくり

総合会館「ハピネスなかま」を保健福祉の拠点とし、子育て支援や住民福祉の向上、健康増進に取り組んでいます。

子育て支援では、令和6年4月に「中間市こども家庭センター」を新設。保健師や保育士などが常駐し、妊娠期か



こども家庭センター。お気軽に立ち寄ってください。

ら子どもの成長に応じた、切れ目のない総合的な支援を受けられるようになりまし。また、健康寿命の延伸を図るため、各種健診の実施のほか、生活習慣の改善や地域での生きがいづくりにつながる活動にも力を入れています。

06 安全安心

安全・安心なまちづくり

地震や豪雨などの災害に備えるためには、行政による防災・減災対策に加え、住民主体となる地域防災力の向上が欠かせません。

中間市では、全自治会に自主防災組織が結成され、小学校区ごとの防災研修では、住民が作成した避難ル



市民と消防署、消防団との合同避難訓練

ートマップをもとに避難訓練を実施。市や消防署もこの活動を支援しています。

また、管理不全の空き家は、防災や衛生、防犯の観点からも、適正管理の促進や空き家バンクを通じて利活用などを進める方針です。

空き家
バンクは
コチラ



05 教育

人権を尊重し、中間市の
未来を拓く人材を育てるまちづくり

学校教育では、ICTの活用や個別指導の充実を図るとともに、子どもたちが身につけた知識や技術を生かし、他者と協働しながら主体的に課題に向き合う力を育む教育が求められています。

その実現には、教職員などの人材



小学生による田植え体験

育成に加え、これからの教育に対応した施設や設備の充実が必要です。

子どもたちに最適な教育環境を提供するため、学校施設の再編計画を進めています。

また、市民一人一人が互いの人権を尊重し、差別のないまちづくりを推進します。

07 行政経営

将来にわたって持続可能なまちづくり

将来にわたって持続可能なまちを実現するには、公共サービスが安定して供給される地域社会の構築が欠かせません。

人口減少や少子高齢化といった課題に対応しつつ、自治会などが主体的に地域課題の解決に取り組めるよう支援します。



民間事業者などに一定期間、施設の命名権を付与するネーミングライツ事業(写真＝やすらぎ通り)。収入は、自治会が行う公園草刈りなどの奨励金に充てられます。

行政運営では、ICTの活用により業務を効率化し、行政サービスの利便性向上を目指す。

老朽化が進む公共施設は、公共施設等総合管理計画により適正配置や総量の縮減、予防保全を進め、長寿命化と財政負担の平準化に努めます。

市のゆかり人



■ 仰木 彬 (おおぎ あきら) さん

(1935 - 2005)

中間市出身。プロ野球の選手・監督として活躍。オリックス・ブルーウェーブ監督時代の1996年には、監督として初の日本一と正力松太郎賞に輝く。2004年に野球殿堂競技者表彰を受賞した。

市のあゆみ

江戸・明治・大正時代

1621 (元和7) 年
堀川掘削工事が始まる
1762 (宝暦12) 年
中間唐戸完成
1874 (明治7) 年
中間市で最初の小学校である底井野小学校、中間小学校創立
1889 (明治22) 年
町村制施行により、長津村 (中間、岩瀬) と底井野村 (垣生、底井野、中底井野、下大隈) が誕生
1891 (明治24) 年
筑豊本線の若松・直方間が開通
1919 (大正8) 年
遠賀川木橋架設
1922 (大正11) 年
町制施行で長津村が長津町となる
1924 (大正13) 年
長津町が町名を中間町に改称

昭和時代

1931 (昭和6) 年
鉄筋コンクリート造の2代目遠賀橋架設
1932 (昭和7) 年
中間町と底井野村が合併
1933 (昭和8) 年
中間市で最初の中学校である中間中学校創立
1934 (昭和9) 年
中間トンネルが開通
1953 (昭和28) 年
大水害で遠賀川堤防決壊
1954 (昭和29) 年
垣生公園開園
1958 (昭和33) 年
市制施行により中間市誕生
1964 (昭和39) 年
東京五輪の聖火が中間市を通過
中間市消防署設置
1969 (昭和44) 年
現市庁舎落成
1978 (昭和53) 年
市営野球場と体育文化センターが完成
1979 (昭和54) 年
第1回やっちゃん祭開催
1983 (昭和58) 年
第1回筑前中間川まつり開催
1985 (昭和60) 年
屋島公園開園
1987 (昭和62) 年
市民図書館開館
1988 (昭和63) 年
中間大橋開通

平成時代

1989 (平成元) 年
屋根のない博物館竣工
1991 (平成3) 年
現消防庁舎完成
1996 (平成8) 年
なかまハーモニホール完成
2001 (平成13) 年
ハピネスなかま完成
J R筑豊本線の電化により「福北ゆたか線」開通
2004 (平成16) 年
国民文化祭が福岡県で開催、中間市ではジャズダンスフェスティバルを開催
2005 (平成17) 年
ねんりんピックふくおか 2005 が福岡県で開催、中間市では囲碁大会を開催
2006 (平成18) 年
現在の3代目遠賀橋架設
2008 (平成20) 年
市制施行50周年を迎え、一般公募により公式キャラクター「なかっぱ」誕生
2011 (平成23) 年
地域交流センターと新鮮市場さくら館が完成
2012 (平成24) 年
中間唐戸築造250年記念「堀川サミット」開催
2015 (平成27) 年
遠賀川水源地ポンプ室がユネスコ世界文化遺産に登録



2016 (平成28) 年
俳優の大野いとさんが中間市PR大使に就任
高倉健・仰木彬展を開催
2017 (平成29) 年
市営野球場を「中間仰木彬記念球場」に改称
2018 (平成30) 年
チャレンジショップ「夢まるしえ」オープン

令和時代

2019 (令和元) 年
堀川が「歴史の道百選」に選定
2020 (令和2) 年
堀川開削400周年 (1621年開始)
2021 (令和3) 年
東京2020五輪の聖火リレーが市内を走行
予定も新型コロナウイルス感染症で中止。
北九州市で点火式のみ開催

■ 高倉 健 (たかくら けん) さん

(1931 - 2014)

中間市出身。日本映画界を代表する俳優。「幸福の黄色いハンカチ (1977年)」 「鉄道員 (1999年)」 など数々の名作に主演。1998年に紫綬褒章、2006年に文化功労者、2013年に文化勲章を受章した。



大型遊具が充実!

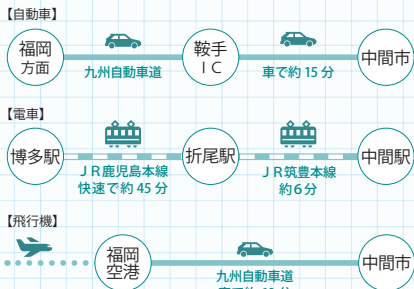


凡例

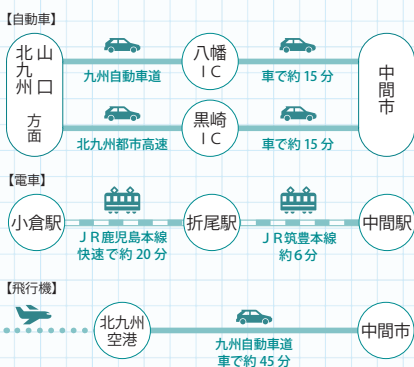
- 消防署
- 交番
- 学校 (市立小・中)
- 学校 (高等学校)

アクセス

福岡方面からお越しの場合



山口・北九州方面からお越しの場合



市のPR大使



■ 大野 いと (おおのいと) さん

中間市出身。2016年から中間市PR大使を務める。2011年公開映画「高校デビュー」で主演デビュー。以降、映画やドラマ、CMなど幅広く活躍。主な出演作品は、映画「高津川」「ツナグ」、ドラマ「あまちゃん」「インビジブル」「リコカツ」など。

NAKAMA City Date



City Profile

市章



中間 (ナカマ) の3字を組み合わせて図案化したもので、下部の  がナ、上部の  がカ、中央の  がマを表します。

地勢

東経 130 度 42 分 41 秒 北緯 33 度 48 分 49 秒
面積 15.96km² 東西 6.98km 南北 4.45km

沿革

中間市は、福岡県の北部に位置し、北九州市と遠賀郡、鞍手郡に接しています。市の中央を南北に一級河川の遠賀川が流れ、市域は「東部地区」と「西部地区」に分かれています。北九州市側となる東部地区には、なだらかな丘陵を背景に閑静な住宅地と商業地などを形成し、人口の9割が集中。西部地区の広々とした平野部には、美しくのどかな田園風景が広がり、市の振興方針による工業団地が立地しています。

市の公式キャラクター



■ なかっぱ

身長: キュウリ3本分
体重: キュウリ3本分
好きな食べ物: キュウリ
中間市内に住むカップ。シャイだけど人懐っこい性格で「めん」が口癖。

公式「X」だめん



人口

38,946人

(令和7 (2025) 年2月末現在)

〈男性〉18,366人

〈女性〉20,580人

人口の社会動態 (転入人口と転出人口の差)

令和5 (2023) 年

39人増
〈転入〉1,712人
〈転出〉1,673人

令和4 (2022) 年

72人増
〈転入〉1,708人
〈転出〉1,636人



See You

また、お会いしましょう

出会い、つながり、育まれる絆
 ここには、
 心がほどけるやさしさと、
 前を向く力があります
 ページを閉じたその先に、
 また新たな物語が
 広がっていくことを願って
 中間市が、
 あなたの記憶のどこかに、
 あたたかく残り続けますように――

なかまの祭――

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 筑前中間さくら祭(3～4月・垣生公園) |
| 2 | ふるさと遠賀川鯉のぼり祭(4～5月・遠賀川河川敷) |
| 3 | 筑前中間川まつり(8月・遠賀川河川敷) |
| 4 | 筑前中間やっちゃれ祭(10月・なかまハーモニーホール) |

■発行日 令和7年3月
 ■発行 福岡県中間市
 ■編集 中間市 未来創造部 企画課 広報係
 〒 809-8501 福岡県中間市中間一丁目 1-1
 TEL 093-246-6271 FAX 093-245-5598
 E-mail koho@city.nakama.lg.jp

